

外国語活動学習指導案（4年〇組）

1 単元名 ALTのために日本のテレビ番組を紹介しよう

2 考察

(1) 教材観

本単元は、新学習指導要領「外国語活動」の内容〔思考力、判断力、表現力等〕(2)「情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項」の指導内容ア「自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を使って、相手に配慮しながら、伝え合うこと」に基づいて設定した。外国語でのやり取りに慣れていなくても、ALTを相手として、「目的意識」や「相手意識」を明らかにして場面設定することにより、相手の発信等に対して児童自ら自分の知識や経験から答えを引き出し、相手に分かりやすく時刻などについて伝えることができ、自分で進んで考えコミュニケーションを図ろうとする態度の育成になると考える。

(2) 児童の実態及び指導方針

外国語活動の授業の中で、「楽しい」と感じるのはどんなときかという質問に対して、「ゲーム」、「チャンツ」、「歌」、「クイズ」とほとんどの児童が答えている。ゲームでの勝ち負けやリズムに乗って英語が言えたことに対して楽しいと感じ、十分英語に慣れ親しんでいる一方、「英語で話すこと」や「新しいことや言葉を知ったとき」と答える児童は約10%である。新しい言葉や外国の食べ物や名所など、自分の知らないことについては興味を持っているようだが、決められた表現がうまく言えたことに対して楽しいと感じているだけであって、目的・場面・状況等に応じて英語を使ったり、人と関わるために、相手に分かりやすく自分の考えや気持ちを伝えたりすることに喜びを感じるまでに至っていない。

本単元では、言語材料に慣れ親しむための活動を繰り返した後、「コミュニケーションスパイス」を活用して場面設定をしたコミュニケーション活動において、児童がALTにできるだけ外国語を用いて伝えようとしたり、相手と円滑に関わるために言葉のやり取りをしようとしたり、既習の知識・技能や経験を生かしながら、相手のために自分の考えや気持ちを表現したりする。そうして自ら進んで考えながらコミュニケーションを図ろうとする態度を育みたいと考える。また、ALTが児童と関わ合中、児童の思いや考えを理解し、児童一人一人に声を掛けることによって、児童が自分の思いや考えが伝わった達成感やALTに感謝された喜びを感じながら、英語でのやり取りの大切さや楽しさを実感させることができると考える。そして、自ら英語を学ぼうとする意欲や、将来、英語を用いて人と関わり合おうとする姿勢につながることを期待している。

3 研究との関わり

新学習指導要領では、小学校外国語活動において、「自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地」や「相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度」を養うことが求められている。また、平成29年度学校教育の指針（群馬県教育委員会）では、「自分の考えや気持ちを伝え合う場面を設定し、相手意識をもちながらコミュニケーションを図る活動」を継続して行うことが外国語活動の重点の一つとして挙げられている。

そこで、本単元では、これまで行われてきた外国語を用いた体験的な活動に「コミュニケーションスパイス」を加えて、児童が自分で考えながらコミュニケーションを図ることができる場面を設定する。具体的には、その場面で、相手意識や目的意識を明らかにし、英語を使う必然性を持たせ、児童がどんな人とも円滑に関わるために英語で何をどう伝えたら良いか自分で考え、判断して、言葉のやり取りを行うと考える。人と円滑に関わるために、目的・場面・状況等に応じて、自分の知識・技能や経験を生かしてやり取りをする体験を重ねれば、自ら進んで考えてコミュニケーションを図ろうとする態度を育むことができると考える。

4 単元の目標

ALTのために、紹介したいテレビ番組の放送される曜日や時刻を英語で分かりやすく伝えようとする。

5 主な表現や語彙

- ・表現 What time is it? It's six. It's eight thirty P.M. など
- ・語彙 数字（1～12、30）、A.M.、P.M.

6 指導計画（全5時間予定）

評価 規 準	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度 【コ】	○ ALTのために、紹介したいテレビ番組の放送される曜日や時刻を英語 で分かりやすく伝えようとしている。		
	外国語への慣れ親しみ 【慣】	○時刻について尋ねたり、答えたりしている。 ○数字(1～12、30)やA.M.、P.M.を用いて時刻を表している。		
	言語や文化への気付き 【言】	○世界には時差があることに気付いている。 ○アルファベットの名称の読み方を聞いて、どの文字かが分かる。		
時 間	過 程	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動 評 価
		活用させたい知識等	思考力・表現力等	
第1時	つ か む	○ 1～12の数の言い方 ○時刻についての尋ね方や答え方 ○文字の形	○ 1～12の数を聞いて分 かったり、言ったり している。 ○時刻について尋ねたり 答えたりしている。 ○アルファベットの名称 がどの文字を表してい るかを理解している。	○歌“Seven Steps” ○Wowゲーム ○チャンツ ○リレーゲーム ○Wのなぞり書き&文字探し
		【慣】時刻について尋ねたり答えたりしている。		
第2時	慣 れ 親 し む	○ 1～12の数の言い方 ○時刻についての尋ね方や答え方 ○文字の形	○ 1～12の数を言い慣れ ている。 ○30の数を聞いて分かっ たり、言ったりして いる。 ○A.M.やP.M.を聞いて分 かったり、言ったり している。 ○時刻について質問した り答えたりする表現 に慣れている。 ○時刻を正確に聞き取っ ている。 ○アルファベットの名称 がどの文字を表して いるかを理解してい る。	○歌“Seven Steps” ○チャンツ “What time is it?” ○「一番早起きは誰でしょう」 ○Tのなぞり書き&文字探し
		【慣】 1～12、30の数やA.M.、P.M.で時刻を表している。		
第3時		○時刻についての尋ね方や答え方	○ 1～12の数を言い慣れ ている。	○チャンツ “ドイツじゃなくてGermany”

		<p>○世界には時差があること</p> <p>○文字の形</p>	<p>○30の数を言い慣れている。</p> <p>○時刻について質問したり答えたりする表現に慣れている。</p> <p>○時刻を正確に聞き取っている。</p> <p>○外国の時刻について質問したり答えたりしている。</p> <p>○アルファベットの名称がどの文字を表しているかを理解している。</p>	<p>○チャンツ "What time is it?"</p> <p>○あってるかな?ゲーム</p> <p>○「世界の国々の時刻を聞こう」</p> <p>○Pのなぞり書き&文字探し</p>
<p>【言】 世界には時差があることに気付いている。</p>				
第4時 ・ 第5時	広 げ る	<p>○時刻についての尋ね方や答え方</p> <p>○身近な事柄（日本のテレビ番組）についての表現 I like～.</p> <p>○曜日や時刻の尋ね方や答え方 What day? Monday. What time? 6:30 P.M.</p>	<p>○1～12の数を言い慣れている。</p> <p>○30の数を言い慣れている。</p> <p>○時刻について質問したり答えたりする表現に慣れている。</p> <p>○時刻を正確に聞き取っている。</p> <p>○ALTに紹介したいテレビ番組について話している。</p> <p>○ALTの発信に応じて、答えている。</p> <p>○ALTと話すとき、相手に分かりやすく伝えている。</p>	<p>○歌"Seven Steps"</p> <p>○チャンツ "What time is it?"</p> <p>○あってるかな?ゲーム</p> <p>○「ALTの先生に日本のテレビ番組を紹介しよう」</p>
<p>【コ】 ALTのために、紹介したいテレビ番組の放送される曜日や時刻を英語で分かりやすく伝えようとする。</p>				

7 展開 (1/5)

- (1) ねらい 時刻について尋ねたり、答えたりする。
- (2) 準備 デジタルテレビ、コンピュータ、リズムマシン、トランプ、振り向きカード、絵カード (数字、時刻、手、足)
- (3) 展開 (T1:学級担任 T2:ALT S:児童)

学習活動	時間	指導者の活動・留意点及び支援		評価規準 (評価方法)
		T 1	T 2	
1 挨拶・ウォームアップ ・挨拶、曜日、天気について答える。 ・"Seven Steps"を歌う。	7分	○曜日と天気について尋ねる。 ○児童が選んだ数字を言うときは手を叩いたり、足踏みしたりして、楽しく歌えるようにする。	○児童と一緒に手話を用いながら、曜日や天気を答える。 ○発音の模範を示し、児童と一緒に楽しく歌う。	
2 活動1 WOWゲーム ・デモンストレーションを見て、活動のやり方を類推する。 ・グループでWOWゲームに取り組む。	8分	○T 2と児童2人でデモンストレーションを行う。 ○速くできれば良いのではなく、リズム良くできるのを目指すように話す。	○グループの取組を見て回りながら、大きな声やはっきりとした発音、リズムなどを褒める。	
<p><WOWゲーム></p> <p>① 4人程度のグループを作り、スタートの児童が他の児童を手で促しながら、oneと言う。</p> <p>② 促された児童が、今度はtwoと言いながら、違う児童を促す。</p> <p>③ 3～11まで続け、twelveと言った児童以外の他の児童がみんなで「Wow! (ワオ)」と言って両手を挙げる。</p>				
3 活動2 めあて・チャンツ ・T 1とT 2の会話を聞いて、本時の学習課題をつかみ、活動の見通しを持つ。	10分	○T 1の経験したことについてT 2との会話で再現する。	○通りがかりの役でT 1と会話を行う。	
		○アメリカで友達と待ち合わせしたとき時計を忘れていたので、通りがかりの人に時刻を教えてもらってほっとしたエピソードの再現 T 1: やっと、着いた。11時に待ち合わせなんだけど、友達はどこにいるのかな。今、何時かなあ。 (to T2)Excuse me? What time is it? T 2: It's eleven. T 1: (ほっとしたように)Oh, thank you. T 2: You're welcome.		
・本時のめあてを知る ・めあてを振り返りカードに書き、全員で復唱する。		○T 1の経験から時刻についての表現が役に立つものであることを伝える。 ○めあてを黒板に貼る。	○児童が速やかに取り組むように声を掛ける。 ○書けた児童にはスタンプを押しながら褒める。	

<本時のめあて> 時こくについてたずねたり答えたりしよう。

<ul style="list-style-type: none"> ・“What time is it?”チャンツに取り組む。 ①映像を見ながら ②時刻カードを見ながら 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体のリズムが合うようにリズムマシンを使う。 ○ジェスチャーを付けながら時刻を尋ねる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○発音の模範を示し、児童に時刻カードを見せながら、時刻を言う。 ○慣れてきたら速さを変える。
<p><チャンツ> T 1 :What time is it? T 2 :It's eight. ※時刻を替えて繰り返す。</p>		
<p>4 活動3 リレーゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各列の最前列の児童に時刻が書いてあるカードが渡され、その時刻を各列の最後尾の児童まで耳打ちしながら伝える。 ・後ろの児童は自分の前の児童に“What time is it?”と聞く。 ・最後尾の児童はT 2に伝える。 	<p>10分</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童と一緒にデモンストレーションを行う。 ○速さではなく、時刻が正確に伝えられているかが大事であることを伝える。 ○答え合わせのときは、クラス全体で最後尾の児童に時刻を尋ね、最前列の人がカードを見せながら正しく伝わっているかどうか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教室の後ろで一番後ろの児童に“What time is it?”と尋ね、正確に時刻を言っているか確認し、声を掛ける。 ○最後尾の児童がクラス全体に伝わった時刻を言うときに支援する。
<p>【慣】時刻について尋ねたり答えたりしている。 (観察、振り返りカード)</p>		
<p>5 活動4 文字の読み方</p> <ul style="list-style-type: none"> ①発音 ②空書き ③なぞり書き ④文字探し 	<p>5分</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体全体で空書きすることによって、Wの文字の形を捉えさせる。 ○ワークシートの文字探しには本時で扱った単語(twelve, what)を用いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○発音の模範を示し、発音しづらい単語はゆっくり繰り返し発音する。 ○書けた児童にはスタンプを押しながら褒める。
<p>6 振り返り・あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードに自己評価と感想を記入する。 	<p>5分</p> <ul style="list-style-type: none"> ○めあてや振り返り項目を声に出して読むことで、振り返る焦点を絞らせる。 ○数人に振り返りを発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が速やかに取り組むように声を掛ける。 ○書けた児童にはスタンプを押しながら褒める。

8 板書計画



26th October

<Today's Goal> 時刻についてたずねたり答えたりしよう

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12












7 展開 (2/5)

(1) ねらい 1~12、30の数やA.M.、P.M.を用いて時刻を表す。

(2) 準備 リズムマシン、振り返りカード、絵カード(数字、時刻、手、足、起床、就寝)、なぞり書きシート

(3) 展開(T1:学級担任 T2:ALT S:児童)

学習活動	時間	指導者の活動・留意点及び支援		評価規準 (評価方法)
		T 1	T 2	
1 挨拶・ウォームアップ ・挨拶、曜日、天気について答える。 ・"Seven Steps"を歌う。	5分	○曜日と天気について尋ねる。 ○児童が選んだ数字を言うときは手を叩いたり足踏みしたりして、楽しく歌えるようにする。	○児童と一緒に手話を用いながら、曜日や天気を答える。 ○発音の模範を示し、児童と一緒に楽しく歌う。	
2 活動1 めあて・チャンツ ・本時の学習課題をつかみ、活動の見通しを持つ。 ・めあてを振り返りカードに書き、全員で復唱する。	15分	○午前と午後を聞き忘れたために、友達が6時半にテレビに出るというのを見逃してしまった経験話し、A.M.、P.M.の大事さを伝える。 ○めあてを黒板に貼る。	○児童が速やかに取り組むように声を掛ける。 ○書けた児童にはスタンプを押しながら褒める。	
<p><本時のめあて> 時こくについてくわしく答えよう。</p>				
・What time is it?"チャンツに取り組む。 ①時刻カードを見ながら ②thirtyの入った時刻を入れながら ③A.M.、P.M.を入れた時刻の言い方はリズム音なしでT2の発音を繰り返す。		○時刻を言うときよく使う言葉「半」の英語での言い方を伝え、thirtyやA.M.、P.M.を用いて、前時より詳しい時刻について表現できることを説明する。 ○全体のリズムが合うようにリズムマシンを使う。 ○ジェスチャーを付けながら時刻を尋ねる。	○発音の模範を示し、児童に時刻カードを見せながら、時刻を言う。 ○児童が慣れてきたら速さを変える。	
<p><チャンツ> T1:What time is it? T2:It's eight thirty (eight P.M.) ※時刻を替えて繰り返す。</p>				
3 活動2 「一番早起きは誰でしょう」 <場面絵> 	15分	○デモンストレーションの前に、T1とT2のどちらが早く起きるか予想させてから会話を聞かせる。	○T1との会話を聞かせる。 ○起きたときの時刻を尋ねているように見えるように、場面絵カードから顔を出しながら話す。	
<p>○T1が"Let's time-travel!"と言っている間にT2は場面絵の穴から顔を出しながら時刻を答える。 T1:What time is it? T2:It's eight thirty A.M. ※T1が答えるときも同様に</p>				

<p>①グループでお互いに起きる時刻を聞き合う。</p> <p>②各グループの一番早く起きる人が立ち、クラスで一番早く起きる人を推測する。</p> <p>③全グループ同時に質問する。</p> <p>④各グループの一番早く起きる人がクラス全員からの質問に答える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><会話例></p> <p>Q:What time is it?</p> <p>A:It's 6:30 A.M.</p> </div>	<p>○ゲームを始める前にクラスで誰が最も起きるのが早い、寝るのが早いを予測してから、ゲームを始めさせる。</p> <p>○アイコンタクトをして、はっきりとした声で言えているかどうかを確認しながら、机間支援を行う。</p> <p>○②では立っている人の中で、最も早く起きるのかを予想させてから、全体で時刻を尋ねさせる。</p> <p>○自分の予想がだいたい合っていたかどうかを振り返らせることで、話をしてみないと分からないことがあることを強調する。</p>	<p>○T 1 とデモンストレーションを行う。</p> <p>○場面絵カードを各グループに配る。</p> <p>○アイコンタクトをして、はっきりとした声で言えているかどうかを確認しながら、机間支援を行う。</p>
<p>【慣】 1～12、30の数やA.M.、P.M.を用いて時刻を表している。 (観察、振り返りカード)</p>		
<p>4 活動3 文字の読み方</p> <p>①発音</p> <p>②空書き</p> <p>③なぞり書き</p> <p>④文字探し</p>	<p>5 分</p> <p>○体全体で空書きすることによって、Tの文字の形を捉えさせる。</p> <p>○ワークシートの文字探しには本時で扱った単語(time, thirty)を用いる。</p>	<p>○発音の模範を示し、発音しづらい単語はゆっくり繰り返し発音する。</p> <p>○書けた児童にはスタンプを押しながら褒める。</p>
<p>5 振り返り・挨拶</p> <p>・振り返りカードに自己評価と感想を記入する。</p>	<p>5 分</p> <p>○めあてや振り返り項目を声に出して読むことで、振り返る焦点を絞らせる。</p> <p>○数人に振り返りを発表させる。</p>	<p>○児童が速やかに取り組むように声を掛ける。</p> <p>○書けた児童にはスタンプを押しながら褒める。</p>

8 板書計画



2nd November

< Today's Goal > 時こくについてくわしく答えよう。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

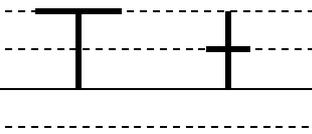


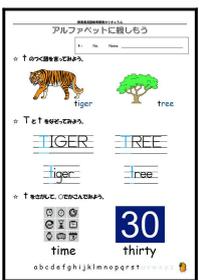










7 展開 (3/5)

- (1) ねらい 世界には時差があることに気付く。
 (2) 準備 スピーカー、音楽プレイヤー、リズムマシン、振り返りカード、絵カード (数字、時刻、手、足、A.M.&P.M.) なぞり書きシート、ワークシート、国旗&時刻カード (児童用、掲示用)、動作カード
 (3) 展開 (T1:学級担任 T2:ALT S:児童)

学習活動	時間	指導者の活動・留意点及び支援		評価規準 (評価方法)
		T 1	T 2	
1 挨拶・ウォームアップ ・挨拶、曜日、天気について答える。 ・“ドイツじゃなくて Germany”を歌う。	5分	○曜日と天気について尋ねる。 ○ジェスチャーを付けながら、児童と一緒に楽しく歌う。	○児童と一緒に手話を用いながら、曜日や天気を答える。 ○“How are you?”に対して、“I’m sleepy”と答える。 ○発音の模範を示し、児童と一緒に楽しく歌う。	
2 活動1 あってるかなゲーム ・“What time is it?”チャンツに取り組みながら、間違い探しをする。 ①時刻カードを見ながら ②時刻カードとT2の言う時刻が違っていたら立つ。	10分	○全体のリズムが合うようにリズムマシンを使う。 ○ジェスチャーを付けながら時刻を尋ねる。 ○前時で学習したA.M.とP.M.の意味について確認する。 ○列ごとの対戦によって、ゲーム性や聞かれる緊張感を持たせ、楽しく取り組めるようにする。	○発音の模範を示し、児童に時刻カードを見せながら、時刻を言う。 ○児童が慣れてきたら速さを変える。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <チャンツ> T1:What time is it? T2:It’s eight thirty(eight P.M.) ※時刻を替えて繰り返す。 </div>				
3 T1とT2の会話を聞いて、本時の学習課題をつかみ、活動の見通しを持つ。		○今日のめあてについて推測しながら聞くように伝える。	○表情やジェスチャー等で内容が推測できるように会話する。	
		T1:みんな歌ったから、元気になったみたい。パトリック先生もさっきは眠いと言っていたけど、元気になったかな。 T1:Are you sleepy? T2:Yes, I am. I’m very sleepy. T1:Why were you sleepy? T2:Last night, I watched a soccer game on TV. T1:What time did you go to bed? T2:3:00am. T1:Really? Is it a live broadcast? T2:Yes. T1:Liveということは生中継だね。 Where was the soccer game? T2:In Kongo Africa. T1:Wow!		
		○日本が夜のとき、アフリカは昼間というのは時差があるからだということを確認する。 ○日本が朝なら、イギリス、ブラジル、インド、エジプト、アメリカはどういう時間帯か推測させる。		

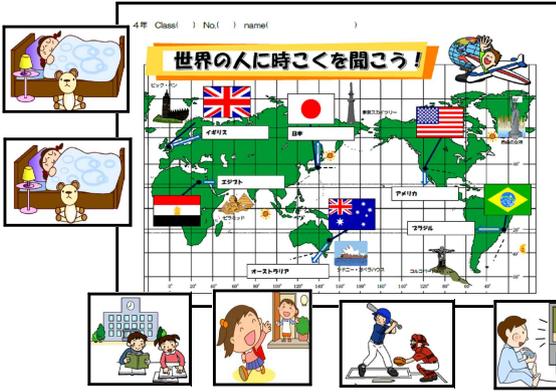
<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードにめあてを書き、全員で復唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○めあてを黒板に貼る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が速やかに取り組むように声を掛ける。 ○書けた児童にはスタンプを押しながら褒める。
<p><本時のめあて> 世界の国々の時こくを知ろう。</p>		
<p>3 活動2 「世界の国々の時刻を聞こう」</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 6人グループに分かれる。 ② 国旗&カードをグループで1枚ずつ持ち、グループの中の一人が時刻カードの国旗だけを友達に見せる。 ③ 他の友達が声を合わせて「What time is it?」と尋ね、国旗カードを見せている児童が時刻を「It's ~」と答える。 ④ 答えを聞いたら、ワークシートに記入し、②③④の流れを順番に行う。 ⑤ 各国の時間帯に合う動作の絵を貼り付ける。 	<p>20分</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ T2とデモンストレーションをするときは悪い例を一度見せ、アイコンタクトやはっきりとした声で言う方が良いことを確認してから良い例を見せる。 ○ "in 国名"のフレーズを使わない代わりに国旗カードを相手によく見せるように確認する。 ○ 言い終わったグループが動作カードの絵をそれぞれの国の時刻に合わせてワークシートに貼るときに、A.M.やP.M.の意味を正確に捉えるように促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【言】世界には時差があることに気付いている。 (観察、振り返りカード)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 悪い例のデモンストレーションでは、表情やジェスチャーでよく分からなくて困っている様子を表す。 ○ アイコンタクトをしながら、はっきりとした声で言っているかどうかを確認しながら、机間支援を行う。 ○ 聞き終わったグループに人の動作カードを配る。 ○ それぞれの国の時刻と動作カードの絵を合わせて、答え合わせをする。
<p>4 活動3(文字の読み方)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 発音 ② 空書き ③ なぞり書き ④ 文字探し 	<p>5分</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体全体で空書きすることによって、Tの文字の形を捉えさせる。 ○ ワークシートの文字探しには本時で扱った単語(P.M., Egypt)を用いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発音の模範を示し、発音しづらい単語はゆっくり繰り返し発音する。 ○ 書けた児童にはスタンプを押しながら褒める。
<p>5 振り返り・挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りカードに自己評価と感想を記入する。 	<p>5分</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のめあてや振り返り項目を声に出して読むことで、振り返る焦点を絞らせる。 ○ 数人に振り返りを発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が速やかに取り組むように声を掛ける。 ○ 書けた児童にはスタンプを押しながら褒める。

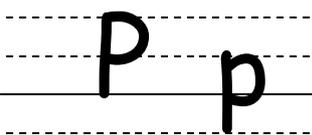
8 板書計画



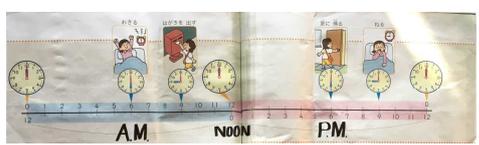
9th November

< Today's Goal > 世界の国々の時こくを知ろう









7 展開 (4/5)

- (1) **ねらい** ALTの状況を理解し、テレビ番組の紹介カードを作成する。
- (2) **準備** リズムマシン、振り返りカード、絵カード (数字、時刻、番組の種類、会話)
紹介カード (児童用、掲示用)、ホワイトボード用マーカー
- (3) **展開** (T1:学級担任 T2:ALT S:児童)

学習活動	時間	指導者の活動・留意点及び支援		評価規準 (評価方法)
		T 1	T 2	
1 挨拶・ウォームアップ ・挨拶、曜日、天気について答える。 ・"Seven Steps"を歌う。	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○曜日と天気について尋ねる。 ○後に使う曜日を尋ねる表現はゆっくり大きく言う。 ○ジェスチャーを付けながら、児童と一緒に楽しく歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童と一緒に手話を用いながら、曜日や天気を答える。 ○今日の日付や天気の後で、現在の時刻を尋ねる。 ○発音の模範を示し、ジェスチャーを付けながら、児童と一緒に楽しく歌う。 	
2 活動1 あってるかなゲーム ・"What time is it?"チャンツに取り組みながら、間違い探しをする。 ①時刻カードを見ながら ②時刻カードとT 2の言う時刻が違っていたら立つ。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ○全体のリズムが合うようにリズムマシンを使う。 ○ジェスチャーを付けながら時刻を尋ねる。 ○列ごとの対戦によって、ゲーム性を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○T 2は時刻カードを提示しながら、発音の模範を示し、時刻を言う。 ○児童が慣れてきたら速さを変える。 	
		<p><チャンツ> T 1:What time is it? T 2:It's eight thirty(eight P.M.) ※時刻を替えて繰り返す。</p>		
3 T 1とT 2の会話を聞くことによって、本時の学習課題をつかみ、活動の見通しを持つ。	7分	<p>① T 2はスパイダーマンのキャップを被っている。 T1:Wow, nice cap. T2:Thank you. Spiderman is so cool. T1:Did you watch the new Spiderrman? T2:Yes. I like movies very much. Do you like movies? T1:Yes. And I like TV shows too. T2:Oh, I don't know much about Japanese TV shows. (がっかりする。) ※表情やジェスチャー等で内容が推測できるように会話する。</p>		
		<ul style="list-style-type: none"> ○①の会話の後、「なぜスパイダーマンの帽子をかぶっていたのか」、「なぜがっかりしていたのか」と質問を絞って日本語で内容を確認する。 ○児童に好きなテレビ番組はあるかと聞きながら、テレビ番組の種類を英語で紹介する。 ○T 2のお願いを児童が受けるかどうかを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童とT 1とのテレビ番組の話に興味深そうに聞く。 ○"Tell me!"をT 1や児童に向けて大げさに言う。 	

<p>・めあてを振り返りカードに書き、全員で復唱する。</p>		<p>② 児童が様々なテレビ番組を知っていることが分かったら… T1: Mr. Patrick, Japanese TV shows are very fun. We like Japanese TV shows, animation, variety shows, music programs, drama, … T2: Wow, great! Please tell me about Japanese TV shows. ※表情やジェスチャー等で内容が推測できるように会話する。</p>	<p>○めあてを黒板に貼る。 ○児童が速やかにめあてを書くように声を掛ける。</p>
<p><本時のめあて> 日本のテレビ番組のしょうかいカードを作ろう。</p>			
<p>4 活動2 「パトリック先生に日本のテレビ番組を紹介しよう(前半)」 ①紹介カードの書き方を確認する。 ②紹介の仕方を聞く。 ③紹介カードを作成する。</p>	<p>18分</p>	<p>○黒板に貼った紹介カード(拡大版)に書きながら紹介カードの書き方を見せる。 ○紹介する番組はT2がこれから見られるもの、特別番組でないものなどにするように伝える。 ○紹介カードに描いた絵を指しながら、紹介する。</p> <div data-bbox="609 1070 1412 1400" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><紹介の仕方> T2: What TV shows do you like? T1: (紹介カードを持って) I like "Kureyon shinchan". (ピックアップカードを指して) Animation. (しんちゃんの絵を指して) Shinchan. T2: I like animation. I want to watch it. What day? T1: Friday. T2: What time? T1: 7:30P.M. T2: Thank you. I'll watch it.</p>  </div> <p>○できれば紹介するテレビ番組がグループ内で重ならないようにアドバイスする。 ○番組について名前以外は大きく絵で表すようにする。 ○カードの裏にはやり取りする言葉を書かないように確認する。 ○番組の曜日や時間が分からないときは教えられるように資料を用意しておく。</p>	<p>○T2は平仮名と片仮名を読めるので、黒板の紹介カードの見本にT1がローマ字で書こうとしているときに番組名を平仮名と片仮名で書くように伝える。</p> <p>○会話の視覚化をするため、黒板に会話の順が分かる絵カードを貼りながら、T1に質問する。</p>
<p>【コ】ALTの状況を理解し、テレビ番組の紹介カードを作っている。 (観察・紹介カード・振り返りカード)</p>			
<p>5 振り返り・挨拶 ・振り返りカードに自己評価と感想を記入する。</p>	<p>5分</p>	<p>○めあてや振り返り項目を声に出して読むことで、振り返る焦点を絞らせる。 ○数人に振り返りを発表させる。</p>	<p>○児童が速やかに取り組むように声を掛ける。 ○書けた児童にはスタンプを押しながら褒める。</p>

8 板書計画


 22nd November

 < Today's Goal > 日本のテレビ番組のしょうかいカードを作ろう

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
											



animation



drama



news



quiz show



クレヨン しんちゃん

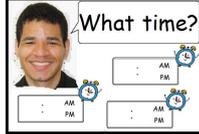




What TV shows do you like?



What day?



What time?



7 展開 (5/5)

- (1) **ねらい** ALTのために、紹介したいテレビ番組の放送される曜日や時刻を英語で分かりやすく伝える。
- (2) **準備** リズムマシン、振り返りカード、絵カード (数字、時刻、番組の種類、会話)
紹介カード (児童用、掲示用)、
- (3) **展開** (T1:学級担任 T2:ALT S:児童)

学習活動	時間	指導者の活動・留意点及び支援		評価規準 (評価方法)
		T 1	T 2	
1 挨拶・ウォームアップ ・挨拶、曜日、天気について答える。	2分	○曜日と天気について尋ねる。 ○後に使う曜日を尋ねる表現はゆっくり大きく言う。	○児童と一緒に手話を用いながら、曜日や天気を答える。 ○今日の日付や天気の後で、現在の時刻を尋ねる。	
2 活動1 "What time is it?"チャンツ	5分	○全体のリズムが合うようにリズムマシンを使う。 ○ジェスチャーを付けながら時刻を尋ねる。	○T 2は時刻カードを提示しながら、発音の模範を示し、時刻を言う。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p><チャンツ></p> <p>T 1:What time is it?</p> <p>T 2:It's eight thirty(eight P.M.)</p> <p style="text-align: right;">※時刻を替えて繰り返す。</p> </div>				
3 本時の学習課題をつかみ、活動の見通しを持つ。 ・振り返りカードにめあてを書く。	3分	○前時の良い振り返りを紹介する。 ○めあてを黒板に貼る。	○紹介してもらうことがうれしかったり、楽しみにしていたりする態度を表す。 ○児童が速やかにめあてを書くように声を掛ける。	
<div style="border: 2px dashed gray; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p><本時のめあて> ALTの先生に日本のテレビ番組をしょうかいしよう。</p> </div>				
4 活動2 「ALTの先生に日本のテレビ番組を紹介しよう (後半)」 ①紹介の仕方を確認する。	30分	<p><紹介の仕方></p> <p>T2:What TV shows do you like?</p> <p>T1:I like "Okasan to issho". A music show. Children songs.</p> <p>T2:I like music. I want to watch it. What day?</p> <p>T1:Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday and Saturday, Monday to Saturday.</p> <p>T2:What time?</p> <p>T1:8:00A.M.</p> <p>T2:Thank you. (握手する) I'll watch it.</p>		
		○黒板に貼った紹介カード (拡大版) を見せながら、紹介のデモンストレーションをする。	○会話の視覚化をするため、黒板に会話の順が分かる絵カードを貼りながら、T 1に質問	

<p>②ペアで紹介カードを用いて紹介する練習をする。</p> <p>③グループ毎に黒板の前に並び、T2と向かい合いながら、一人ずつテレビ番組について紹介する。 (約20秒/人)</p>	<p>○T2の質問に対しての答えをゆっくり強調して言う。</p> <p>○初めに悪い例を見せ、どんなふうで紹介すれば、T2に伝わるかを考えさせ、「笑顔でアイコンタクト」「よく聞く」「はっきり話す」「絵を指し示しながら話す」など意識してやり取りするように確認する。</p> <p>○自分の紹介カードや番組の種類のパクチャーカードを指す動作を付けるように示す。</p> <p>○隣同士、席の前後とペアで2回練習させる。</p> <p>○黒板の前で、児童とT2が向かい合わせになって、お互いに近くで話をするように立たせる。</p> <p>○児童側に立ち、賞賛やアドバイスをしたり、誘導したりする。</p>	<p>する。</p> <p>○悪い例では悲しい表情をし、よい例ではうれしそうな表情をする。</p> <p>○「教えてくれてありがとう」という意味でT1と握手をする。</p> <p>○児童の発話に対して、リアクションをしながら聞く。</p> <p>○三つの質問をする役の児童がT2と一緒に質問を言えるように号令を掛ける。</p> <p>○言葉に詰まってしまった児童には紹介カードを指さして、児童が答えるヒントを与える。</p> <p>○紹介された内容について、“I like ~.”とできるだけ肯定的に対応する。</p> <p>○各グループに最後は感謝と賞賛の言葉を伝える。</p> <p>○紹介してもらったことに対して、うれしい気持ちや感謝の言葉を表す。</p>
<p>【コ】 ALTのために、紹介したいテレビ番組の放送される番組や時刻を英語で分かりやすく伝えようとしている。 (観察・授業記録ビデオ・振り返りカード)</p>		
<p>5 振り返り・挨拶 ・振り返りカードに自己評価と感想を記入する。</p>	<p>5 分</p> <p>○めあてや振り返り項目を声に出して読むことで、振り返る焦点を絞らせる。</p> <p>○数人に振り返りを発表させる。</p>	<p>○児童が速やかに取り組むように声を掛ける。</p> <p>○書けた児童にはスタンプを押しながら褒める。</p>

8 板書計画



29th November

< Today's Goal >
ALTの先生に日本のテレビ番組をしょうかいしよう















